

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

秦 康夫

2016年8月11日（木）9:30～13:00

- 作業項目：1）第二物置設置基礎造り
2）物置周辺整備
3）溪流・溪谷調査

作業用具が増えてきて、現在の物置だけでは収容できなくなってきたため、同じサイズの第二の物置を増設することにしている。場所は現在の物置の対面、5～6m程度の距離で前面が向き合うように設置する。双方の天井部分を繋いでビニールシートでも張り渡せば、屋根代わりになって雨の場合の避難場所や荷物置き場として活用できるかも知れない。

第二物置の設置場所は既にざっと整地済なので、今日は基礎工事として四隅に穴を掘り、25cm四方のコンクリート製升口を埋め込むことにした。これにセメントを流し込んで、物置小屋の四隅の柱を固定する予定である。地面の土はあまり固くはないが、地中の至るところに樹木の根が張っており、穴掘り前の作業として木の根切りが大変だった。四隅に穴を掘って碎石（バラスト）を敷き詰めた上に、升口を埋め込み、水準器で水平度を調整した。次に四隅・四ヶ所の升口相互間の高度を同一水準にする必要がある。レーザーポインター付き水準器という便利な器具があり、お互いの水平度が簡単にチェックできる。測定してみるとけっこう高低差が出てきたので、穴を深く掘り直したり、反対に碎石を追加したり、何度も埋め込み作業をやり直して高さを調整し、12時半頃、やっと基礎工事を終えたところで、溪流調査に行っていたメンバーも戻ってきた。今日の作業はこれで打ち切り、

午後は昼食を兼ねて今後の作業予定等を話し合う納涼懇親会ということにした。

【作業参加者】

斧田一陽 武田壽夫 秦康夫 宮本廣 茂木完治

計 5 名



1 . 集合写真 作業前



2 . 集 合 写 真 作 業 後



3 . 四 隅 に 、 2 5 c m 四 方 の 升 口 埋 め 込 み 用 の 穴 を 掘 る



4 . 穴の底に碎石（バラスト）を敷き詰める



5 . 碎石を木槌で細かくする



- 6 升口を埋め込む



7. 升口を埋め込み、水準器で升口の上面の水平度を確認する



8. レーザー付き水準器で、四隅の升口の高さが同じどうかをチェックし、高さを調整する



9. 支柱設置用の升口完成～これにセメントを流し込んで基礎を固定する